



# 第1回OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA のルール

## みんなでしっかり新型コロナウイルス感染拡大防止対策



- ・厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)」をインストール(スマホの方必須)
- ・大会前から、「3密」回避、手洗い・うがい、体調管理をしっかりとしよう
- ・入場時には、体温測定！体調不良、37.5℃の発熱の場合は参加自粛しよう
- ・受付前にオゾンゲートで消毒、手を消毒液で消毒しよう、タオルは自分専用でね
- ・近接会話時はマスク等をしよう ただし、熱中症対策のため、野外では2m以上離れてマスクを外そう
- ・受付前に「健康チェックシート」を記入して受付に必ず提出
- ・更衣室は、密にならないように順番にね
- ・レース時は、縦列にならないようにずらして走ろう！
- ・応援は、たたきモ/で音で応援！  
密にならないように2m以上離れて応援してね
- ・アワードセレモニーでは、2m以上はなれて、騒がず、

ゆったり楽しく過ごしてね

田原オフロードトライアスロン実行委員会



## 第1回 OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA (オフロードトライアスロン in 田原) における 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 (令和2年8月24日時点版)

注：本対策は、2020年8月24日現在の情報に基づき記載しています。  
内容は最新の情報に基づき適宜更新されることにご注意ください。

### <総則>

1. 「OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA」大会 (以下「本大会」という) の新型コロナウイルス対策として、下記事項に基づき実施し感染拡大防止に努める。
2. この対策は、JAPAN TRIATHLON UNION のホームページに掲載の COVID-19 国内向け運営ガイドライン「大会開催に際して注意する点」2020年5月28日版(JTU イベントチーム、技術委員会、審判委員会、メディカル委員会が中心となり作成した、日本国内向けの運営ガイドライン「新型コロナウイルス対策：大会開催に際して注意する点」) を参考に最新の厚生労働省の「新しい生活様式」を踏まえ作成している。
3. この対策は、標記時点の対策内容であり適宜更新する。

### <はじめに：対策における考え方の要点>

長い社会生活自粛という苦境を経験し、これからも一定の制限を受けながら生きていくウィズコロナの時代となっており、多くのスポーツイベントが中止を余儀なくされている現状であります。関係者間でできる限りの協議を重ね、準備を進めてきた結果、現状必要となる対策を適切に実施することで、地域住民、自治体、関係機関の承諾を得て、本大会を開催することになりました。

本大会は屋外で行う個人競技のため、新型コロナウイルス感染のリスクは低いスポーツですが、大会会場における局所的に人が集まる場面と、大会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなることも踏まえ、大会実施前から参加者自らが対策をして準備したうえで、ウイルスの感染経路である飛沫感染と接触感染の2つをよく理解し、「3密」を避けた対応と、熱中症対策の両方の対策をふまえて大会を実施します。

感染していても無症状の期間があり、自覚無く他人に感染させてしまうことと、ヒトの身体を離れても条件によって数日は感染性を有していることがあり、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを大会会場に持ち込み、大会がクラスターとなることは絶対に避けなければなりません。

本大会の実施をさせていただき開催地の住民・関係者の方の理解と協力を得て、本大会が実施できることから、本大会に集う全ての人にご協力いただき、地域住民と参加者、大会関係者、全ての人々が安心して大会を行うことができるよう、以下の対策を実施しますのでご協力お願いいたします。

## <大会実施の判断と対応>


1. 新型コロナウイルス感染拡大により本大会を中止する場合は、本大会ホームページ及び、登録いただいた電子メールがある場合はメールでもあわせてお知らせします  
その際、参加費や参加賞などについては、中止決定時点での必要経費・手続き費用等を除き返金をいたします。
2. 上記以外における中止の場合は、入金手続き完了後はいかなる理由であっても、申込のキャンセル、参加費は返金できません。

## <参加選手・観戦者の方が行う対策 要約版>



### 第1回OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA の ルール

## みんなでしっかり新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・ **「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」をインストール(スマホの方必須)**
- ・大会前から、「3密」回避、手洗いうがい、体調管理をしっかりしよう
- ・入場時には、体温測定！体調不良、37.5℃の発熱の場合は参加自粛しよう
- ・受付前にオゾンゲートで消毒、手を消毒液で消毒しよう、タオルは自分専用でね
- ・近接会話時はマスク等をしよう ただし、熱中症対策のため、  
野外では2m以上離れてマスクを外そう
- ・受付前に「健康チェックシート」を記入して受付に必ず提出
- ・更衣室は、密にならないように順番にね
- ・レース時は、縦列にならないようにずらして走ろう！
- ・応援は、たたきモ/で音で応援！  
密にならないように2m以上離れて応援してね
- ・アワードセレモニーでは、2m以上はなれて、騒がず、ゆったり楽しく過ごしてね
- ・発症したらCOCOAへ登録、事務局へすぐ連絡



田原オフロードトライアスロン実行委員会

## <参加選手・観戦者の方が行う対策>

### 1. 基本事項

感染拡大のために参加者に守っていただきたい事項を以下に記します。

守っていただけない場合には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への「参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得る」ということをご理解、ご協力お願いいたします。

※ 基礎疾患（特に肺疾患、心疾患、高血圧、糖尿病など）のある方、喫煙者の方は、自らが感染した場合重症化する割合が高いため、大会申込み、参加、大会会場への来場をお勧めしません。

### 2. 大会前の対策と対応

- (1) 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めていただき、大会会場でも同様をお願いします。  
大会に参加する個人や団体は、大会の前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策を行ってください。ただし、熱中症を防止する観点から厚生労働省から発表された「新しい生活様式」に示された、野外で人との距離が2 m以上離れている場合は、マスクを外し、熱中症予防に努めてください。
- (2) 移動手段としては、公共交通機関をできるだけ避け、自家用車での移動を推奨いたします。必要な駐車場は主催者が確保します。
- (3) 健康管理として、大会前に、別途作成する「健康チェックシート」（体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、食欲低下、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど）に記入を行い、大会会場受付で提出してください。
- (4) 以下の事項に該当する場合は、来場せず欠場してください。  
その場合は、大会事務局へ電話連絡等してください。  
ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・食欲低下・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。  
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。  
ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (5) マスク・フェースシールド等（以下、「マスク等」という）の対策をしていただくため事前に準備する。
- (6) 行動記録：大会前後 1 4 日間の出向いた場所、同行者について、特に人混みに入る場合だけでも可能な範囲で記録しておいてください。
- (7) 厚生労働省の接触確認アプリ **COCOA** を、参加者・観戦者・大会スタッフ等の来場

者全員がインストールし活用していただき、検査の受信など保健所の早期サポートにつなげる。

### 3. 大会当日の対策と対応

- (1) 会場内では感染防止のために主催者が決めたルールに従うこと。
- (2) 大会中、全ての来場者はマスクを携帯し、競技中以外の参加受付時や着替え時等、人と2m以内で会話する場合にはマスクを着用してください。ただし、熱中症を防止するため野外で人との距離が2m以上離れている場合は、マスクを外してください。対人距離をできるだけ2m以上(両手を伸ばして当たらない範囲)を確保すること。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。)また、トイレ等の手洗いの石鹸を活用し20秒以上の手洗いを随時行うとともに、マイタオルを持参して手拭を行うようにする。
- (3) 入場時、受付時には下記の対応を行いますのでご協力ください。

#### ア入場時の消毒等について

- ・入場場所に消毒が期待できるオゾンゲートを設置しますので、ゲートを通過してから受付に来てください。
- ・受付窓口に手指消毒剤を設置するので、受付前に必ず消毒をしてから受付してください。

#### イ体調の確認について

- ・**駐車場の入場時に、乗車している全員の**体温測定を行います。体温が**37.5℃**以上の場合は、大会医療代表に報告するとともに、**該当者の**入場をお断りいたします。(発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は自主的に入場辞退していただけるようお願いいたします)
- ・参加者は、受付時に事前に記入した「健康チェックシート」(体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、食欲低下、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど)を受付で提出してください。提出がない場合は入場できません。また、③の質問で有りがある場合は入場を自粛してください。

#### 【健康チェックシートの内容】

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※個人情報取扱注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
  - ア 平熱を超える発熱
  - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
  - ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
  - エ 嗅覚や味覚の異常

- オ 体が重く感じる、疲れやすい等
- カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(4) 更衣室について

更衣室として、野外テントを準備するが、感染リスクが比較的高いところであるため、人数制限を設けるので順番に入り速やかに着替えを行い、完了したらすぐに退室すること。

(5) 競技説明会

競技説明と注意事項などの基本的説明内容は、事前に送付する「大会案内（競技説明と注意事項）」に記載するので熟読・理解して参加すること。

当日の競技説明会では、基本事項以外の当日の水温の状況、コースコンディションやスズメバチなどの発生状況等の注意事項、変更事項についてのみ説明を短時間で行うものとする。

(6) 選手は、競技中の位置取りにおいて前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

(7) スタートは、フルとリレー、ライトを分けて出発し、スタート時には各選手が2m程度離れるようにする。

(8) 競技に際して以下について配慮すること

ア 競技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

イ タオルの共用はしないこと。

ウ 道具の共有は禁止し、特に水のボトルやコップは共有しないこと。

エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。

オ フィニッシュエリアで選手同士が集まらないこと。

(9) エイドステーション、フィニッシュテープ

エイドステーションでは、水及びスポーツドリンクなどを準備し、紙コップで提供するものとし、セルフ方式（ボランティアから手渡しをしないで選手が直接取る方法）とする。熱中症予防のため水分・塩分をしっかりとってください。

食糧等は提供しないので各自準備すること。ごみはコースに放置せず持ち帰ること。

フィニッシュテープは多くの人が接触することになるため設置しない。

(10) 応援時は、感染リスクが高い、ハイタッチ等の濃厚接触、集団での動きを伴う応援、指笛、ホイッスルなどは自粛し、声援時はマスクを着用し、隣の人と2m以上距離を保つての観戦をすること。

(11) 競技後のアワードセレモニーでの表彰については、手渡しを回避し1度に多人数が

接触しないようにするため、各クラスの1位～3位の3人ずつコールした人のみステージに上がり間隔をあけて立ち、セットされた賞状、トロフィー、賞品を自ら取り、写真撮影後に席へ戻るようにする形とするのでご理解・ご協力をお願いします。

- (12) 競技後のアワードセレモニーでの飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく2mの距離をとって対面を避け、会話するときはマスクを着用してください。ただし、熱中症を防止するため野外では人との距離が2m以上離れている場合は、マスクを外してください。キッチンカーでの食事提供の際には、前の人と2mの間隔をあけて並ぶこと。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。

#### 4. 大会後の対応

- (1) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

## ＜大会主催者が行う対策＞

### 1. スタッフ各個人の対応

スタッフ各位も選手同様以下の対策を実施する。

- (1) 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めていただき、大会会場でも同様とする。  
大会に参加するスタッフは、大会の前後の準備・片付、ミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策を行う。ただし、熱中症を防止するため野外で人との距離が2 m以上離れている場合は、マスクを外してください。
- (2) 移動手段としては、公共交通機関をできるだけ避け、自家用車での移動を行う。
- (3) 以下の事項に該当する場合は、来場せず代理をたて担当長に連絡し欠席すること。  
ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・食欲低下・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。  
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。  
ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (5) 大会会場ではマスク・フォエースシールド等（以下、「マスク等」という）を各自準備し着用する。  
多くの選手等と接触する受付の担当、賞品受け渡し担当、コロナ対策班の担当は、事務局が準備するゴム手袋を着用して実施する。
- (6) 行動記録：大会前後14日間の出向いた場所、同行者について、特に人混みに入る場合だけでも可能な範囲で記録すること。
- (7) 厚生労働省の接触確認アプリ **COCOA** を、参加者・観戦者・大会スタッフ等の来場者全員がインストールし活用していただき、検査の受信など保健所の早期サポートにつなげる。

### 2. スタッフ配置・資機材の配置

- (1) 全体のスタッフについて、必要最低限のボランティア数で対応する。
- (2) 大会スタッフと別でコロナ対策班を設置し、下記による適切な資機材の配置、実施状況のチェックをおこない、感染拡大防止に努める。

#### 【資機材の準備・配置】

- ・衛生用品（マスク、消毒液、石鹼(ポンプ式)、ゴム手袋、体温計[非接触型]など）の必要数を確認し調達を行う。
- ・衛生用品の各所への配置計画（受付、説明会会場、トランジション、トイレなど）をたて配置する。



- ・受付に「健康チェックシート」提出用のBOXを準備
- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意し、「手洗いは20秒以上」等の掲示をする。（参加者にはマイタオルで手拭を行うようにしてもらう）
- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに（1日数回）消毒する。
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・衛生用品（例えばティッシュ、タオル、衛生用品）を安全に廃棄するための密閉式ゴミ箱を必要箇所に用意する。
- ・受付には、透明ビニールカーテンなどを設置し遮蔽する。
- ・選手が受付で、密に並ばないように2m間隔にラインを設置し適切な距離をとれるようにする。
- ・トランディッションエリアは、適切な感覚をとるため1セットのバイクラックに6台程度（各方向3台）とし間隔で区切るラインを設置する。
- ・フィニッシュした後の誘導線を引き、参加者が滞留しないようにする。
- ・フィニッシュ後に飲食を提供する際は、個包装された物を用意する。

### （3）医療体制を整える

## 3. 受付の対応方法

- （1）**駐車場の入場時に、乗車している全員**の体温測定を非接触体温測定器により行う。  
体温が**37.5℃**以上の場合は大会医療代表に報告し、**該当者**の入場をお断りする。
- （2）BOXを準備し、「健康チェックシート」提出してもらい記載内容を確認し、③の質問で「有」がある場合は入場をご辞退いただくようにする。  
提出がない場合、忘れた場合は、別テーブルで記載していただく。

### 【健康チェックシートの内容】

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報取扱注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
  - ア 平熱を超える発熱
  - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
  - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - エ 嗅覚や味覚の異常
  - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (3) 参加者に渡す、ゼッケン、スイムキャップ、記念Tシャツ等は1つの袋に入れ、番号をわかるようにしておき、受付担当が参加者証番号で照合したうえで、各自でとってもらうようにする。(手渡しをしないように工夫する)

#### 4. 更衣室について

- (1) 更衣室として、野外テントを準備するが、感染リスクが比較的高いところであるため、人数制限を設けて、入り口に明示する。
- (2) 1時間に1度の頻度で更衣室内を除菌スプレーで清掃する。

#### 5. 競技説明会

- (1) 競技説明と注意事項などの基本的説明内容は、事前に送付する「大会案内（競技説明と注意事項）」に記載して周知する。
- (2) 当日の競技説明会では、基本事項以外の当日の水温の状況、コースコンディションやスズメバチなどの発生状況等の注意事項、変更事項についてのみ説明を短時間で行うものとする。

#### 6. 競技中、競技後での対応

- (1) スタートは、フルとリレー、ライトを分けて出発し、スタート時には各選手が2m程度離れるようにする。
- (2) エイドステーションでは、水のみ紙コップで提供するものとし、セルフ方式（ボランティアから手渡しをしないで選手が直接取る方法）とする。  
食糧等は提供しない。ごみはコースに放置せず持ち帰るよう指導する。終了後、コース上のゴミをチェックし落ちていれば回収してくる。
- (3) フィニッシュテープは多くの人々が接触することになるため設置しない。
- (4) 競技後のアワードセレモニーでの表彰は、表彰対象者3人ずつコールし、コールした人のみステージに上がってもらい間隔をあけて立ち、予めセットした賞状、トロフィー、賞品を受賞者自ら取ってもらう形をとる。(手渡ししない方法とする)
- (5) 競技後のアワードセレモニーでの飲食場所は、エリアを限定し、エリア内にあらかじめ消毒したビーズクッションを2メートル間隔に配置し、そこで食事をしていただく。食事は、キッチンカーで提供し、各キッチンカーでの食事提供時に**消毒液を用意し、消毒をしてから食事を受け取るようにし、並ぶ際には2m間隔で並ぶようにラインを引き間隔をあけて並ぶように表示を行い密になることを避けること。**
- (6) 競技後のアワードセレモニーのイベントについては、トラックのステージ上でバンド等による音楽演奏を行う。内容は、参加者が興奮して密に盛り上がってしまう内容はさげ、ゆったり落ち着いて聞ける内容とし、ゆったりくつろぎながら食事がで

きる環境とする。参加者と演奏者の離隔を5 m以上確保し、飛沫の影響がないように実施する。

#### (7) 片付け時のゴミの廃棄

衛生用品（例えばティッシュ、タオル、衛生用品）を安全に廃棄するための密閉式ゴミ箱を必要箇所に用意する。鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

## 7. メディカル体制の準備

### (1) 地域の保健所ならびに受入医療機関へ体制確認し、感染が疑わしいケースへの対応策を準備する。

<対応フロー>

- ① 大会事務局新型コロナウイルス感染症対応連絡先の明示。
- ② 感染症対応担当者（医療関係者が望ましい）の設定。
- ③ 原則として直接対面しての対応は行わず、電話で対応する。
- ④ 自宅またはホテルの居室にて体温ならびに症状の確認。
- ⑤ 直接対応が必要な場合は専用隔離スペースを用いる。

この際には、医療関係者が、標準予防策の上で、体温測定に加えて血中酸素飽和度の測定も行うことが望ましい。

- ⑥ 地域の保健所または帰国者・接触者相談センターへ連絡し、指示に従う。
- ⑦ 医療機関を受診する場合、患者の移動手段確保：公共交通機関ならびにタクシーは感染拡大のリスクに配慮し、使用を控える必要がある。移動手段についても地域の保健所または帰国者・接触者相談センターの指示に従う。

\*以下は現時点での移動案（内容については、状況に応じて要検討）

(ケース1) 感染を疑う者が、その者の関係者[同行者、チーム仲間、コーチなど]とそれまで行動を共にしていた場合：本人ならびに関係者全てがマスク、ゴム手袋を装着した上で、窓を開け換気した状態で関係者の車両で移動する。

(ケース2) 感染を疑う者が単独で来場していた場合：マスクならびにゴム手袋を装着した上で、感染者送迎専用車両を大会主催者で準備し、窓を開け換気した状態で送迎する。送迎した場合は使用前後に車内の十分な清掃ならびに消毒を行う。

- ⑧ 感染を疑う者の行動記録を入手し、地域の保健所または帰国者・接触者相談センター（※）に連絡する。
- ⑨ コロナ対策班で情報を共有し、その後の対応について協議する。情報共有のタイミングは感染を疑う者から相談を受けた時点とし、その後適宜情報共有する。

### (2) 隔離対策の準備

感染を疑う者が直接大会受付等を訪ねてきた場合に備え、専用の隔離スペースを準備する。

## 8. 大会後の対応

- (1) スタッフ、参加者が、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、**接触確認アプリ COCOA**の「**陽性情報の登録**」へ入力するとともに、大会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 大会事務局は、スタッフ及び参加者から発症の連絡を受けた場合、できるだけ速やかに、大会参加者全員へメールもしくは電話で連絡を入れ、上記※帰国者・接触者相談センター（厚生労働省）へ連絡しその後の対応について指示を受けること。
- (3) 大会事務局は万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておく。また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、田原市の健康福祉部へ報告し指示を受けること。

## 9. コロナ対策専門スタッフ

- (1) コロナ対策班として以下の専門スタッフ5人を配置する。

### ①大会エリア全体のコロナマネージャ・・・1名

- ・消毒液、石鹼（ポンプ式）、体温計（非接触型）、受付透明シート等の対策に必要な資材調達と配置・撤収（配置・撤収は5人全員で実施）
- ・スタッフの配置計画、設備配置の事前確認
- ・検温時、受付時に体温が37.5°Cを超える人、健康チェックシートに異常の記載のある人の連絡をうけ、医療代表と相談し対応する。
- ・大会中の実施状況記録（施設配置状況・実施状況の写真撮影、健康チェックシートの管理、参加者・観戦者・スタッフ・役員等の名簿の管理）
- ・コロナ発生時の一斉連絡

### ②入場時検温スタッフ・・・2名

- ・事前の設備配置・事後の撤収
- ・大会関係者のみを確認のうえ駐車場に入れ、駐車場入口で車中にある入場者全員の体温チェック（両側から同時に・・・時間短縮）  
37.5°C以上の人がいる場合は、マネージャに報告し指示を受けて対応する。
- ・駐車場が終わったら、アワードセレモニーのためのビーズクッションの配置（2m間隔）、消毒液の噴霧による消毒、キッチンカーで並ぶ位置に2m間隔で並べるようにライン、表示を設置することを実施

### ③受付・消毒スタッフ・・・1名

- ・事前の設備配置・事後の撤収

- ・受付で提出される「健康チェックシート」の内容確認
- ・異常時の医療班への報告、引き渡し・・・マネージャに引き渡し
- ・受付終了後は、アワードセレモニーのためのビーズクッションの配置（2 m 間隔）、消毒液の噴霧による消毒、キッチンカーで並ぶ位置に 2 m 間隔で並べるようにライン、表示を設置することを実施

#### ④更衣室の入場管理・・・1名

- ・事前の設備配置・事後の撤収
- ・野外テントの更衣室への入場人数管理をおこなう。
- ・順番待ちをしていただく場合、2 m ラインを事前にひいておき並んでいただく。
- ・順番待ちがある場合できるだけ最小限の着替えをしたら交代していただくように促す。
- ・1 時間に 1 度の頻度で更衣室内を除菌スプレーで清掃する。
- ・スタート後選手到着までは、アワードセレモニーのためのビーズクッションの配置（2 m 間隔）、消毒液の噴霧による消毒、キッチンカーで並ぶ位置に 2 m 間隔で並べるようにライン、表示を設置することを実施。

以上

※帰国者・接触者相談センター（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryoku/covid19-kikokusyasess-yokusya.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/covid19-kikokusyasess-yokusya.html)

（参考 1）内閣官房『新型コロナウイルス感染症対策』移行期間における都道府県の対応について 2020.5.25

[https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan\\_taiou\\_0525.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan_taiou_0525.pdf)

（参考 2）ITU『COVID-19 Guidelines（英和対比）』

<https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/05/3f9bc11cc84daf1d96bc126d3b4b3cac.pdf>

（参考 3）JTU『COVID-19 Outbreak - Guidelines for RMDs and MDs（簡易訳）』

<https://www.jtu.or.jp/news/2020/03/18/14104/>

（参考 4）日本スポーツ協会 スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて 2020.5.14

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa\\_00021.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html)

（参考 5）首相官邸『新型コロナウイルスお役立ち情報』

[https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus\\_info.html](https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html)

（参考 6）厚生労働省『新型コロナウイルス感染症について』

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

(参考7) 厚生労働省『新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安について』

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596978.pdf>

(参考8) 厚生労働省『国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）』

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00094.html#yobou](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#yobou)

(参考9) 厚生労働省『新しい生活様式』

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_newlifestyle.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)